

1. 目的

水産業は、大半が中小企業で、かつ化石燃料依存型産業であるが省エネルギー化、省力化について、他産業に比べて大幅に遅れている現状にある。

従って、本フォローアップ調査事業は、平成18年度から平成22年度まで実施された水産庁補助事業「省エネルギー技術導入効果実証試験事業」及び平成20年度から平成22年度まで実施された水産庁補助事業「水産技術実用化事業」の各課題についてその後の使用実態や動向等について調査するとともに、実証試験の件数の多い主要課題及び技術開発課題について概要を纏めることにより、水産業における更なる省エネルギーを推進することを目的とした。

概要を纏めるのに当たり、「省エネルギー技術導入効果実証試験事業」の主要課題については出来るだけ漁業者からの意見を聞くことを基本とし、また、「水産技術実用化事業」については機器類の開発者（漁業者を含む）を中心に、これが不可能な場合は、メーカーに意見を聞くこととした。また、すべての課題について、個表（いわゆる課題毎のカルテ）にまとめ、表側に各項目についての回答を記載、裏側は写真や図等を配置して表側の理解の補助とした。従って、ぜひ主要課題の概要の纏めを読んで頂き、個々の課題については個表で詳細な状況を確認頂き、今後の省エネルギー化技術の判断に有効に活用して頂きたく、お願い申し上げます。